



ふじみ野市

支え愛

No.3

センターだより

発行日：2015年9月30日

発行・編集 NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会

発行人 北沢紀史夫

事務局 〒356-0053 ふじみ野市大井 2-15-10
うれし野まちづくり会館2階

TEL 049-293-6266

URL <http://www.fujiminosasaeai.com/meisya.html>



おかげさま

NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会

代表理事 北沢 紀史夫

「ふじみ野市支え愛センター」は十一月一日で満五歳になります。

おかげさまでその間順調に運営でき感謝申し上げます。

利用時間数は、今も増え続けています。

これは、ボランティア、賛助会員、行政、大学など皆様のおかげです。

「あなたのいい顔みたい」ときには、自分を超越る世界に生かされていると気づかされます。

今後利用時間数の増加が見込まれます。

十年後には七十五歳以上の高齢者が一番多くなるからです。

我センターが存続出来るためには、ボランティアの育成が不可欠です。

そこで、ボランティア大人塾 を開設して「共に助け、共に生きる支え愛のまち」づくりを夢見ています。

お力添えを宜しくお願い申し上げます。



いい顔の繋がりに期待を寄せて

ふじみ野市長 高畑 博

北沢紀史夫代表理事をはじめ会員の皆様には、日頃より利用者の心に寄添い、真心を込めた献身的な活動を積極的に展開されておりますことに心から敬意を表します。

さて、皆様の取組みは、マスメディアにも取り上げられるほど多くの方が注目しており、ご高齢の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていく上で大変重要なものであります。

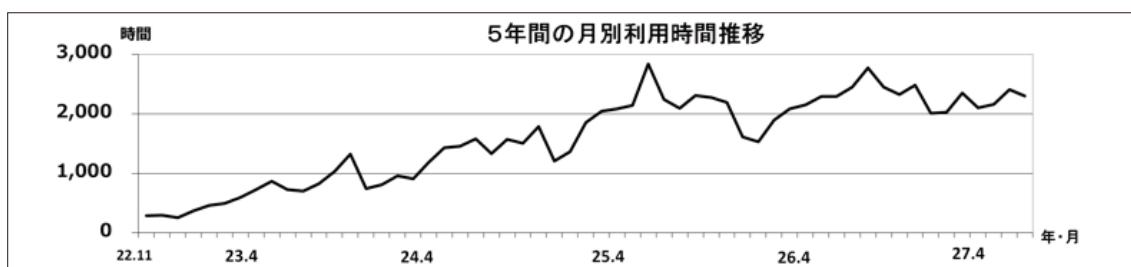
「あなたのいい顔みたい」の基本理念のもと、心で支え合う皆様の素晴らしい活動は、ふじみ野市誕生十

周年の節目となる本年を契機とし、さらに希望の持てるまちづくりを進める上で大変心強いものであります。

いい顔の繋がりは、心の温かさや人と人との絆を深めてまいります。

どうか皆様におかれましては、人と人との支え愛の輪をより一層広げていただき、十一万市民が一つの家族のようなあったかいふじみ野市の実現のため、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

おかげさまで、5周年！ 本当に、ありがとうございます!!



きる 支え愛のまち

協働・共助の心をもった 次代の育成のために

ふじみ野市教育委員会教育長

朝倉 孝

「まちづくりは人づくり」とよく言われますが、様々な人々が「あなたのいい顔みたい」の一点で結ばれた「ふじみ野市支え愛センター」の実践は、これからの暖かいまちづくりの大切な指標であると思います。

さらに多くの会員の皆様が頑張っている姿は必ずや子供達の心に「いつかは自分も」のボランティア精神を育み将来のふじみ野市を背負って立つ暖かな人づくりにもつながっていると確信しております。

日頃の北沢代表理事はじめ会員皆様のご努力に、心から感謝と敬意を表します。

今の子供達が成長して大人になる未来の社会は、より一層少子高齢化が進展し、変化の激しい社会です。

その社会で協働・共助の心をもった生きる力を育成していく事は、現在の教育にとり最重要課題であり、この課題解決の為に、「ふじみ野市支え愛センター」をはじめとする地域のボランティアの皆様との連携が益々重要となって参ります。

皆様の更なるご協力をお願い致します。

ボランティア募集説明会



我々「ふじみ野市支え愛センター」は「あなたのいい顔みたい」を理念として【共助社会（地域の人々と支え合う）】を目指して頑張っています。

お陰様で仕事依頼は増加の一途をたどっておりますが、その依頼に応じることができていない方が、不足しています。

そこでボランティアの増加を図るため三月八日午前、午後二会場で「ボラ

ンティア募集説明会」を開催しました。当日は市・高齢福祉課金子様のご参加をいただき、北沢代表の「支え愛センター」の概況説明、活動ビデオ放映、五名のボランティアの活動報告、二名の利用者の感謝の声、質疑応答アンケート記入等大変有意義な企画となりました。

両会場合わせて九五名のご参加をいただき、十六名のボランティア希望申し込みをいただきました。この活動が市民運動「市民の市民による市民のためのボランティア活動」になることを願い閉会となりました。

埼玉県議会・ 総務県民生活委員会の視察



平成二六年十一月十日 県会議員・執行部・事務局計十七名が「ふじみ野市支え愛センター」を視察に来られました。共助社会日本一を目指している埼玉県

で地域支え合いの仕組みづくりは重要課題であることから我センターの取組みを調査し今後の施策の参考にしたいとのことでした。

当日は北沢代表が会の理念、概要、仕

組み、経緯、成果とその要因を、又課題として①受付担当の無償ボランティアの扱い②幼少時からのボランティア精神育成の必要性③二七年四月より国から自治体の独自事業に移行の（要介護支援）の受け入れ体制等を説明しました。

四名のボランティアの活動発表、質疑応答も行われ、木下高志委員長、三井隆司県執行部長の感謝、激励の言葉もありました。最後に加藤末勝副委員長より「県に持ち帰り、自助・公助・共助について再度検討したい。この会の存続に限りない敬意を述べると共に今後の活躍の推進を願いたい」というお言葉をいただきました。

共に助け 共に生き

「NPO法人 仙台支え愛 サポートセンター」設立

三月七日 仙台明るい社会づくりの会三名が「ふじみ野市支え愛センター」を視察に訪れました。

目的はNPO法人を立ち上げ、被災地はじめ同じ地域の住民が継続的に支え合う仕組みを作りたいということでした。そこで我々センターよりNPO法人での運営上の注意点等について、そのノウハウを教えて欲しいとのことでした。

その後六月二七日に便りがあり、本年十一月頃より「NPO法人仙台支え愛サポートセンター」を設立し、地域支え合い事業を開始する予定であるとのこと報告でした。

この五年間、我々センターに全国各地からの視察、見学、問い合わせが絶え間ないことを思う時「共助社会」が全国的な広がりになることを願ってやみません。



賛助会員の期待

(株)埼玉金周 内田安紀

皆様の支え愛事業が、開始六年目に入るとお聞きしました。

これは、皆様の活動がふじみ野市民に必要とされているからです！

「あなたのいい顔みたい」の理念の基、更なるご活躍を期待しております。

個人会員…83名 賛助会員企業・団体名簿一覧

- 株式会社 協和清掃運輸
- 株式会社 埼玉金周
- 株式会社 吉岡
- 木下の介護ライフコミュニケーションふじみ野
- 近藤建設 株式会社
- シエモア
- ふじみ野市健康マージャンクラブ
- 宮建ハウジング
- 有限会社 吉野工務店

《平成26年度》
《50音順 敬称略》

賛助会御礼

「住み良いふじみ野市」の街づくりに、「暖かい支え愛の手」共助に多くの市民ボランティア活動、賛助を頂き厚くお礼申し上げますとともに「あなたのいい顔みたい」の理念を合言葉に更なる輪の拡大を願い活動参加、賛助のご理解、ご協力をお願い致します。

支え愛と嬉しさ

大河原征子



「ふじみ野市支え愛センター」は知人の紹介で知り、話を聞き共感致しました。

自分は出来るかな、人様の家に入る不安が先立ちました。先輩について依頼者宅に伺い、マンション三階の部屋で、男性一人で十年も掃除したことが無いと聞き、手分けして掃除したことが初めてでした。

依頼者の感謝の言葉を聞き、支え合いの素晴らしさを感じました。

ボランティア活動を始めて四年、掃除、病院での見守り、洗濯、買物、話相手、草取り等させて頂いています。

依頼者宅まで自転車で、出来る範囲で「また来てね」と喜んでもらえるのが嬉しくて活動しているようなものです。

体を動かすことが好きなので、健康でお役に立てたことに幸せを感じ続けたいと思います。

「支え愛センター」に出会って

岩城 英隆

「支え愛」なんと良い響きでしょう。私はこの言葉が大好きです。

当初事務所に伺った時、このフレーズを聞いて即座にボランティアの登録を行いました。平成二三年春の事でした。爾来、四年半が過ぎました。年を追う毎に私の出番も増え、昨年(平成二六年)は延五四〇時間を超え、三六五日間、毎日一・五時間ボランティア活動に従事したことになります。この間も含め、一日も寝込んだことはありません。

これも「支え愛」のお蔭です。

ふじみ野市は、埼玉県で一番暮らし易い都市と聞きました。

活動を通じて少しでも貢献できれば幸いです。これからも健康・体力の許す限り頑張りたいと思います。



人とのつながり

星野 和子



私がこの仕事を始めたきっかけは「医者も買物も一人では出かけられないのよ。誰か付き添ってくれないかしら?」という声を聞いたからです。仕事を辞めてから私に出来る事を手伝いたい!とまず一回利用してみました。とても安くて助かり感謝しました。

それから始めて草取りやかたづけ、認知症の母と息子さん二人暮らしの手助け、掃除や買物、寝たきりの人の話相手等、今までにたくさんの人との出会いがありました。

親の面倒を見たいが仕事があるし・・・と悩んでいる人も、一声かけて下さい。

皆で助け合い人との出会いを大切にし、人と上手につながっていきたいですね。

恩返し

伊藤 香代子

ボランティアを始めた動機は、母がデイサービスでお世話になっていたので、何時か機会があれば恩返ししたいと思っていたからです。

ちょうどその時支え愛センターの事を知り、すぐにボランティア登録し活動を始めました。

利用者は、週に一度の訪問を心待ちにしてくれています。

自分が頼られていて嬉しく思っています。

夫は病院の付き添いを中心に活動していて、やはり皆様に感謝されることを生きがいと頑張っています。これからも夫婦二人で共に頑張りたい、喜んでいただける様に、又それによって更に心身ともに健康であり続ける様にと願っています。



◎ ボランティア募集・・・一諸にやりましょう。お待ちしております!!

編集後記

・ 発行第三号、ご協力有難うございました。

益々「共に助け共に生きる支え愛のまち」に多くの方々の思いやり・賛同のおかげです。「誰にも必ず、やってくる不自由」元気な今なら、誰でも出来る、支え愛(共助)の輪を拡げ、共に元気に、頑張しましょう。(成田)

・ 社会情勢の変化に伴いボランティア増加が急務となっています。

我々の活動が市民運動に発展出来れば・・・と願っています。(武田)